

器74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

フィーディング接続チューブ (旧規格)

【警告】

1. 使用方法

- 1) 本品は、ISO 80369-3に適合した製品(新規格製品)の使用が困難と医師が判断した場合に、以下の(1)～(4)に全て対応した上で使用すること。^{1)～5)} [他領域のコネクタとの誤接続の不慮のリスクがある。]
- (1) 旧規格製品を使用することについて、その目的に見合った医学的理由があると医師が判断すること。
- (2) 本品における誤接続のリスクや例外的な使用することに伴う不利益(例: 緊急入院先で新規格製品が導入されている場合)を被る可能性があることを(1)とともに医師が患者に説明した上で、その使用について患者の同意を得ること。
- (3) 本品を使用することについて、医療従事者等の本品の使用に携わる関係者で情報共有し、十分なモニタリング体制を敷くこと。
- (4) (1)～(3)に関する記録を行うこと。

【禁忌・禁止】

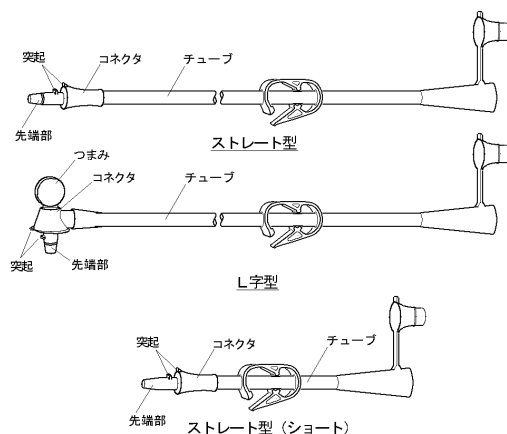
1. 使用方法

- 1) 本品は同一患者使用である。複数の患者に使用しないこと。[感染のおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、G B胃瘻バルーンカテーテル (G B胃瘻バルーンボタン、G B胃瘻バルーンボタンセット/認証番号: 220ADBZX00115000) 専用の、交換用フィーディングチューブである。
2. 本品にはコネクタ形状の違いにより、次図に示すとおりストレート型、L字型の2種類の形状がある。なお、ストレート型にあっては、チューブ部分の短いショートタイプもある。

〈フィーディングチューブ〉



〈材質〉

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム
コネクタ	ポリアセタール

本品はラテックスフリーである。

〈原理〉

胃または腸に挿入した胃瘻栄養用カテーテルと連結することで、経腸栄養剤等を投与することができる。

【使用目的又は効果】

本品は、造設された胃瘻孔に留置した胃瘻栄養用カテーテルに接続し、栄養剤等の投与に使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法

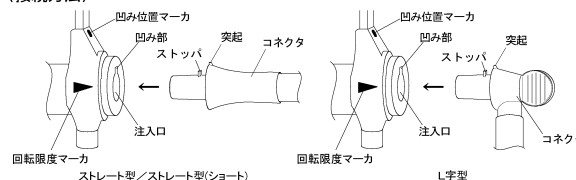
〈接続前の準備〉

- 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。

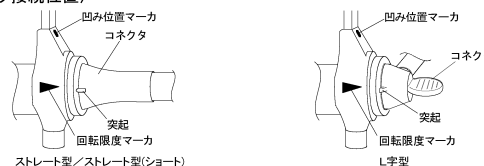
〈接続方法〉

- 1) G B胃瘻バルーンボタンのファネルよりキャップを取り外す。
- 2) フィーディングチューブのコネクタ部ストッパを、バルーンボタン注入口の凹み部(凹み位置マーカ)に合わせて挿入した後、右に約3/4(回転限度マーカ(▲)まで)回転して接続する。その際、コネクタ部突起が回転限度マーカ(▲)を超えないように注意すること。[回転限度マーカを超えた過剰な右回しはストッパ破損の原因となる]

〈接続方法〉



〈コネクタ接続位置〉



〈管理方法〉

- 1) 栄養剤等の投与前後には、接続したフィーディングチューブより、適量の微温湯でG B胃瘻バルーンボタンの内腔をフラッシングする。
- 2) 栄養剤等の投与後は、フィーディングチューブのコネクタ部突起が凹み位置マーカに合うまで回して接続を解除した後、G B胃瘻バルーンボタンの注入口より取り外す。[取り外す際は、ボタン注入口と本品先端部の軸をずらさずに真っ直ぐに引き抜くこと。軸をずらして取り外すと、ボタン注入口破損の原因となる]
- 3) 取り外したフィーディングチューブは、洗浄及び消毒後、十分に乾燥させ、清潔な状態で保管する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) G B胃瘻バルーンボタンの取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコーンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品で薬液等を注入する前に、本品が経腸栄養ラインに接続されていることを十分に確認すること。
- 2) 本品をG B胃瘻バルーンボタンに接続する際に、過剰な右回し(ロック)やロックされた状態で無理矢理取り外さないこと。[過剰な右回し(ロック)やロックを解除しないで無理に取り外すと、突起部破損やG B胃瘻バルーンボタン注入口破損の原因となる](取扱いは【使用方法等】1. 一般的使用方法の〈接続方法〉の2)及び〈管理方法〉の2)を参照のこと)
- 3) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。[自己認証による]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、
清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献
令和4年第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医療機器・再生
医療機器等製品安全対策部会安全対策調査会 資料
1) 資料 1－2
2) 参考資料 3
3) 参考資料 4
4) 参考資料 5
5) 参考資料 6
2. 文献請求先
富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

器74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

フィーディング接続チューブ (スモール専用/旧規格)

【警告】

1. 使用方法

- 1) 本品は、ISO 80369-3に適合した製品(新規格製品)の使用が困難と医師が判断した場合に、以下の(1)～(4)に全て対応した上で使用すること。^{1)～5)} [他領域のコネクタとの誤接続の不慮のリスクがある。]
- (1) 旧規格製品を使用することについて、その目的に見合った医学的理由があると医師が判断すること。
- (2) 本品における誤接続のリスクや例外的な使用することに伴う不利益(例: 緊急入院先で新規格製品が導入されている場合)を被る可能性があることを(1)とともに医師が患者に説明した上で、その使用について患者の同意を得ること。
- (3) 本品を使用することについて、医療従事者等の本品の使用に携わる関係者で情報共有し、十分なモニタリング体制を敷くこと。
- (4) (1)～(3)に関する記録を行うこと。

【禁忌・禁止】

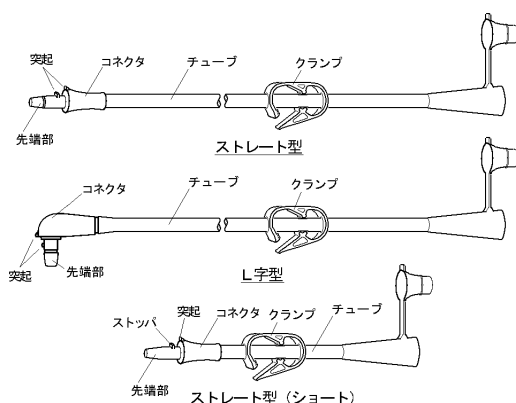
1. 使用方法

- 1) 本品は同一患者使用である。複数の患者に使用しないこと。[感染のおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、G B胃瘻バルーンボタン スモール/認証番号: 220ADBZX00115000) 専用の、交換用フィーディングチューブである。
2. 本品にはコネクタ形状の違いにより、次図に示すとおりストレート型、L字型の2種類の形状がある。なお、ストレート型にあっては、チューブ部分の短いショートタイプもある。

〈フィーディングチューブ〉



〈材質〉

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム
コネクタ	ポリエーテル

本品はラテックスフリーである。

〈原理〉

胃または腸に挿入した胃瘻栄養用カテーテルと連結することで、経腸栄養剤等を投与することができる。

【使用目的又は効果】

本品は、造設された胃瘻孔に留置した胃瘻栄養用カテーテルに接続し、栄養剤等の投与に使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法

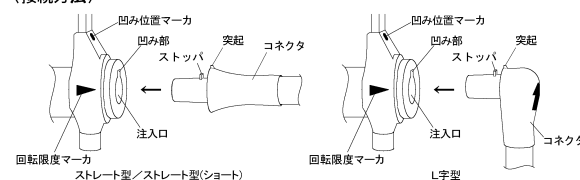
〈接続前の準備〉

- 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。

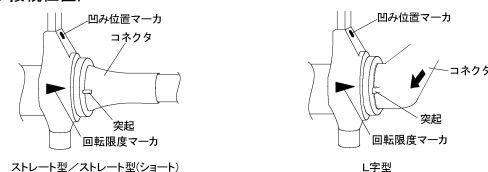
〈接続方法〉

- 1) G B胃瘻バルーンボタン スモールのファネルよりキャップを取り外す。
- 2) フィーディングチューブのコネクタ部ストッパを、バルーンボタン注入口の凹み部(凹み位置マーカ)に合わせて挿入した後、右に約3/4(回転限度マーカ(▲)まで)回転して接続する。その際、コネクタ部突起が回転限度マーカ(▲)を超えないように注意すること。[回転限度マーカを超えた過剰な右回しはストッパ破損の原因となる]

〈接続方法〉



〈コネクタ接続位置〉



〈管理方法〉

- 1) 栄養剤等の投与前後には、接続したフィーディングチューブより、適量の微温湯でG B胃瘻バルーンボタン スモールの内腔をフラッシングする。
- 2) 栄養剤等の投与後は、フィーディングチューブのコネクタ部突起が凹み位置マーカに合うまで回して接続を解除した後、G B胃瘻バルーンボタン スモールの注入口より取り外す。[取り外す際は、ボタン注入口と本品先端部の軸をずらさずに真っ直ぐに引き抜くこと。軸をずらして取り外すと、ボタン注入口破損の原因となる]
- 3) 取り外したフィーディングチューブは、洗浄及び消毒後、十分に乾燥させ、清潔な状態で保管する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) G B胃瘻バルーンボタン スモールの取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品で薬液等を注入する前に、本品が経腸栄養ラインに接続されていることを十分に確認すること。
- 2) 本品をG B胃瘻バルーンボタン スモールに接続する際に、過剰な右回し(ロック)やロックされた状態で無理矢理取り外さないこと。[過剰な右回し(ロック)やロックを解除しないで無理に取り外すと、突起部破損やG B胃瘻バルーンボタン スモール注入口破損の原因となる] (取扱いは【使用方法等】1. 一般的使用方法の〈接続方法〉の2)及び〈管理方法〉の2)を参照のこと)
- 3) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。[自己認証による]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、
清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献
令和4年第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医療機器・再生
医療機器等製品安全対策部会安全対策調査会 資料
1) 資料 1－2
2) 参考資料 3
3) 参考資料 4
4) 参考資料 5
5) 参考資料 6
2. 文献請求先
富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

器74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

フィーディング接続チューブ (ラージボア用/旧規格)

【警告】

1. 使用方法

- 1) 本品は、ISO 80369-3に適合した製品(新規格製品)の使用が困難と医師が判断した場合に、以下の(1)～(4)に全て対応した上で使用すること。^{1)～5)} [他領域のコネクタとの誤接続の不慮のリスクがある。]
- (1) 旧規格製品を使用することについて、その目的に見合った医学的理由があると医師が判断すること。
- (2) 本品における誤接続のリスクや例外的な使用することに伴う不利益(例: 緊急入院先で新規格製品が導入されている場合)を被る可能性があることを(1)とともに医師が患者に説明した上で、その使用について患者の同意を得ること。
- (3) 本品を使用することについて、医療従事者等の本品の使用に携わる関係者で情報共有し、十分なモニタリング体制を敷くこと。
- (4) (1)～(3)に関する記録を行うこと。

【禁忌・禁止】

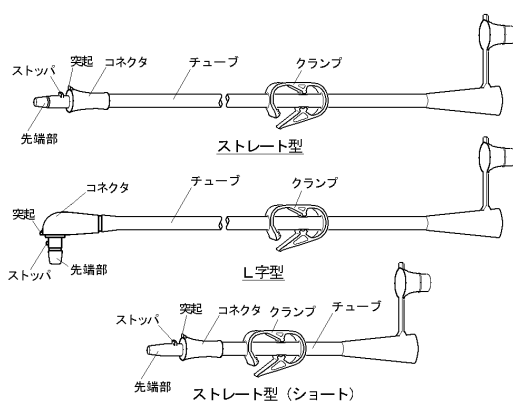
1. 使用方法

- 1) 本品は同一患者使用である。複数の患者に使用しないこと。[感染のおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、G B 胃瘻バルーンカテーテル(G B 胃瘻バルーンボタン ラージボア/認証番号: 220ADBZX00115000)専用の、交換用フィーディングチューブである。
2. 本品にはコネクタ形状の違いにより、次図に示すとおりストレート型、L字型の2種類の形状がある。なお、ストレート型にあっては、チューブ部分の短いショートタイプもある。

〈フィーディングチューブ〉



〈材質〉

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム
コネクタ	ポリエタール

本品はラテックスフリーである。

〈原理〉

胃または腸に挿入した胃瘻栄養用カテーテルと連結することで、経腸栄養剤等を投与することができる。

【使用目的又は効果】

本品は、造設された胃瘻孔に留置した胃瘻栄養用カテーテルに接続し、栄養剤等の投与に使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法

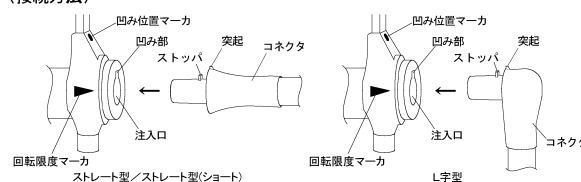
〈接続前の準備〉

- 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。

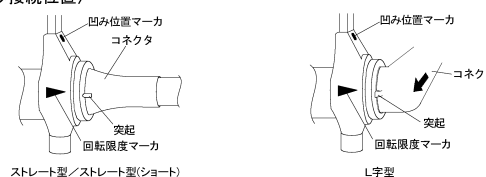
〈接続方法〉

- 1) G B 胃瘻バルーンボタン ラージボアのファネルよりキャップを取り外す。
- 2) フィーディングチューブのコネクタ部ストッパを、バルーンボタン注入口の凹み部(凹み位置マーカ)に合わせて挿入した後、右に約3/4(回転限度マーカ(▲)まで)回転して接続する。その際、コネクタ部突起が回転限度マーカ(▲)を超えないように注意すること。[回転限度マーカを超えた過剰な右回しはストッパ破損の原因となる]

〈接続方法〉



〈コネクタ接続位置〉



〈管理方法〉

- 1) 栄養剤等の投与前後には、接続したフィーディングチューブより、適量の微温湯でG B 胃瘻バルーンボタン ラージボアの内部をフラッシングする。
- 2) 栄養剤等の投与後は、フィーディングチューブのコネクタ部突起が凹み位置マーカに合うまで回して接続を解除した後、G B 胃瘻バルーンボタン ラージボアの注入口より取り外す。[取り外す際は、ボタン注入口と本品先端部の軸をずらさずに真っ直ぐに引き抜くこと。軸をずらして取り外すと、ボタン注入口破損の原因となる]
- 3) 取り外したフィーディングチューブは、洗浄及び消毒後、十分に乾燥させ、清潔な状態で保管する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) G B 胃瘻バルーンボタン ラージボアの取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコーンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]
- 3) フィーディングチューブをクランプする際は、クランプに施されている溝の2段目以上(カチという音が2回以上するまで)閉じること。[クランプが緩いと、フィーディングチューブ内の内容物を遮断できないことがある]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品で薬液等を注入する前に、本品が経腸栄養ラインに接続されていることを十分に確認すること。
- 2) 本品をG B 胃瘻バルーンボタン ラージボアに接続する際に、過剰な右回し(ロック)やロックされた状態で無理矢理取り外さないこと。[過剰な右回し(ロック)やロックを解除しないで無理に取り外すと、突起部破損やG B 胃瘻バルーンボタン ラージボア注入口破損の原因となる](取扱いは【使用方法等】1. 一般的使用方法の〈接続方法〉の2)及び〈管理方法〉の2)を参照のこと)

- 3) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。
[自己認証による]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、
清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献
令和4年第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医療機器・再生
医療機器等製品安全対策部会安全対策調査会 資料
1) 資料 1－2
2) 参考資料 3
3) 参考資料 4
4) 参考資料 5
5) 参考資料 6
2. 文献請求先
富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

器74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

フィーディング接続チューブ (IS080369-3適合品)

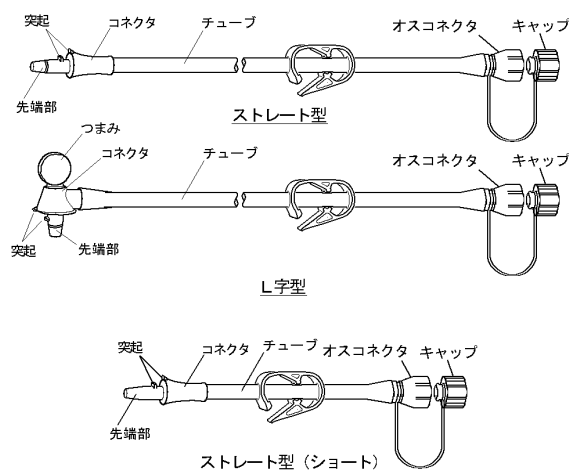
【禁忌・禁止】

1. 使用方法
 - 1) 本品は同一患者使用である。複数の患者に使用しないこと。[感染のおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、GB胃瘻バルーンカテーテル（GB胃瘻バルーンボタン（IS080369-3適合品）、GB胃瘻バルーンボタンセット（IS080369-3適合品）／認証番号：220ADBZX00115000）専用の、交換用フィーディングチューブである。
2. 本品にはコネクタ形状の違いにより、次図に示すとおりストレート型、L字型の2種類の形状がある。なお、ストレート型にあっては、チューブ部分の短いショートタイプもある。
3. オスコネクタ（栄養剤等との接続部）は、IS080369-3に適合するメスコネクタと接続できる。

〈フィーディングチューブ〉



〈材質〉

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム
オスコネクタ	ポリプロピレン
コネクタ	ポリアセタール

本品はラテックスフリーである。

〈原理〉

胃または腸に挿入した胃瘻栄養用カテーテルと連結することで、経腸栄養剤等を投与することができる。

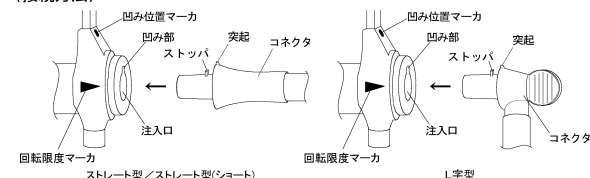
【使用目的又は効果】

本品は、造設された胃瘻孔に留置した胃瘻栄養用カテーテルに接続し、栄養剤等の投与に使用する。

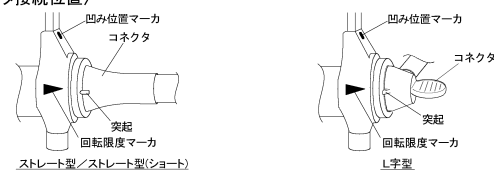
【使用方法等】

1. 一般的使用方法
 - 〈接続前の準備〉
 - 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。
 - 〈接続方法〉
 - 1) GB胃瘻バルーンボタンのファネルよりキャップを取り外す。
 - 2) フィーディングチューブのコネクタ部ストッパを、バルーンボタン注入口の凹み部（凹み位置マーカ）に合わせて挿入した後、右に約3/4（回転限度マーカ（▲）まで）回転して接続する。その際、コネクタ部突起が回転限度マーカ（▲）を超えないように注意すること。[回転限度マーカを超えた過剰な右回しはストッパ破損の原因となる]

〈接続方法〉



〈コネクタ接続位置〉



〈管理方法〉

- 1) 栄養剤等の投与前後には、接続したフィーディングチューブより、適量の微温湯でGB胃瘻バルーンボタンの内腔をフラッシングする。
- 2) 栄養剤等の投与後は、フィーディングチューブのコネクタ部突起が凹み位置マーカに合うまで回して接続を解除した後、GB胃瘻バルーンボタンの注入口より取り外す。[取り外す際は、ボタン注入口と本品先端部の軸をずらさず真直ぐに引き抜くこと。軸をずらして取り外すと、ボタン注入口破損の原因となる]
- 3) 取り外したフィーディングチューブは、洗浄及び消毒後、十分に乾燥させ、清潔な状態で保管する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) GB胃瘻バルーンボタンの取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコーンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 1) 本品をGB胃瘻バルーンボタンに接続する際に、過剰な右回し（ロック）やロックされた状態で無理矢理取り外さないこと。[過剰な右回し（ロック）やロックを解除しないで無理に取り外すと、突起部破損やGB胃瘻バルーンボタン注入口破損の原因となる]（取扱いは【使用方法等】1. 一般的使用方法の〈接続方法〉の2）及び〈管理方法〉の2）を参照のこと）
 - 2) オスコネクタの接続部に栄養剤等が残留しないよう、栄養剤等投与の都度、別売の洗浄ブラシ等を用いて洗浄すること。[栄養剤等の残渣は、接続不良や栄養剤等の漏れの原因となる]
 - 3) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。（自己認証による）

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - 1) 水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
 - 1) 使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927

器74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

フィーディング接続チューブ (スモール専用/IS080369-3適合品)

【禁忌・禁止】

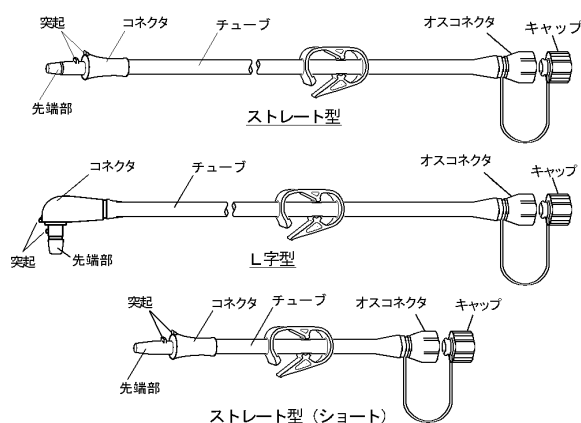
1. 使用方法

- 1) 本品は同一患者使用である。複数の患者に使用しないこと。[感染のおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、GB胃瘻バルーンカテーテル(GB胃瘻バルーンボタン スモール (IS080369-3適合品)/認証番号: 220ADBZX001 15000)専用の、交換用フィーディングチューブである。
2. 本品にはコネクタ形状の違いにより、次図に示すとおりストレート型、L字型の2種類の形状がある。なお、ストレート型にあっては、チューブ部分の短いショートタイプもある。
3. オスコネクタ(栄養剤等との接続部)は、IS080369-3に適合するメスコネクタと接続できる。

〈フィーディングチューブ(白色コネクタ)〉



【材質】

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム
オスコネクタ	ポリプロピレン
コネクタ	ポリエチレン

本品はラテックスフリーである。

【原理】

胃または腸に挿入した胃瘻栄養用カテーテルと連結することで、経腸栄養剤等を投与することができる。

【使用目的又は効果】

本品は、造設された胃瘻孔に留置した胃瘻栄養用カテーテルに接続し、栄養剤等の投与に使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法

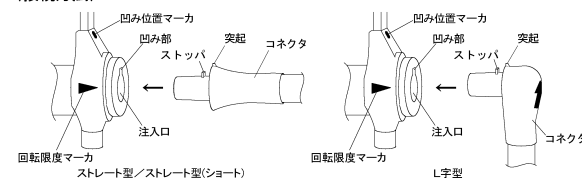
〈接続前の準備〉

- 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。

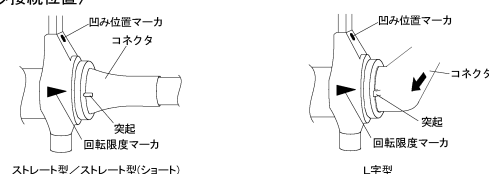
〈接続方法〉

- 1) GB胃瘻バルーンボタン スモールのファネルよりキャップを取り外す。
- 2) フィーディングチューブのコネクタ部ストッパを、バルーンボタン注入口の凹み部(凹み位置マーカ)に合わせて挿入した後、右に約3/4(回転限度マーカ(▲)まで)回転して接続する。その際、コネクタ部突起が回転限度マーカ(▲)を超えないように注意すること。[回転限度マーカを超えた過剰な右回しはストッパ破損の原因となる]

〈接続方法〉



〈コネクタ接続位置〉



【管理方法】

- 1) 栄養剤等の投与前後には、接続したフィーディングチューブより、適量の微温湯でGB胃瘻バルーンボタン スモールの内腔をフラッシングする。
- 2) 栄養剤等の投与後は、フィーディングチューブのコネクタ部突起が凹み位置マーカに合うまで回して接続を解除した後、GB胃瘻バルーンボタン スモールの注入口より取り外す。[取り外す際は、ボタン注入口と本品先端部の軸をずらさずに真っ直ぐに引き抜くこと。軸をずらして取り外すと、ボタン注入口破損の原因となる]
- 3) 取り外したフィーディングチューブは、洗浄及び消毒後、十分に乾燥させ、清潔な状態で保管する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) GB胃瘻バルーンボタン スモールの取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコーンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品をGB胃瘻バルーンボタン スモールに接続する際に、過剰な右回し(ロック)やロックされた状態で無理矢理取り外さないこと。[過剰な右回し(ロック)やロックを解除しないで無理に取り外すと、突起部破損やGB胃瘻バルーンボタン スモール注入口破損の原因となる](取扱いは【使用方法等】1. 一般的使用方法の〈接続方法〉の2)及び〈管理方法〉の2)を参照のこと)
- 2) オスコネクタの接続部に栄養剤等が残留しないよう、栄養剤等投与の都度、別売の洗浄ブラシ等を用いて洗浄すること。[栄養剤等の残渣は、接続不良や栄養剤等の漏れの原因となる]
- 3) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。(自己認証による)

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 1) 水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。

2. 有効期間

- 1) 使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927